

こども夢・チャレンジ推進事業

こども未来部 こども政策課

1 予算額 23,394千円

2 目的及び効果 「こども夢・チャレンジNo.1都市」の実現に向けて、こどもの夢を育み、夢へのチャレンジを応援する事業を展開し、世代を越えてつながるまちづくりを進めます。

3 事業概要

○夢にチャレンジ助成金支給事業 1,979千円

自分の夢を実現するための計画を募集し、チャレンジしたい内容をプレゼンしてもらい、優秀者に助成金を支給します。

【対象】16歳以上25歳以下の個人、団体。高校・大学等に在籍している方。本人もしくは、保護者が1年以上住民登録等。

【助成額】上限30万円

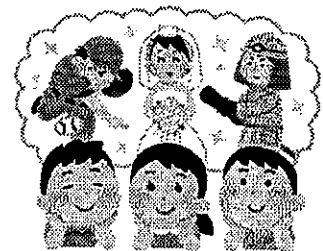
【チャレンジ内容の例】海外語学研修、体験研修、ボランティア、インターンシップなど

○大学生等海外留学奨学金支給事業 3,743千円

海外の大学に、3ヶ月以上留学しようとする大学生等に奨学金を支給します。

【対象】25歳以下。国内の大学等に在学し、語学力が基準を満たす者。本人もしくは、保護者が1年以上住民登録等。

【助成額】留学先の国・地域に応じて、12ヶ月を上限として、月額3～5万円を支給。



○学習支援事業「駒来塾」 4,772千円

経済的理由により学習塾に通えない、家庭環境により家で学習する機会がないなど、学習意欲があっても学力の定着が進んでいない中学生を対象に、教員OBや教員を志望する大学生など地域の協力を得て、一定レベルの学力が定着できるよう学習支援を実施します。

【対象】 中学1・2・3年生（学習塾に通っていないこと）

【教室】 東部地区（篠岡中・桃陵中・光ヶ丘中）

北里地区（北里中・小牧西中）

味岡地区（味岡中・岩崎中）

小牧地区（小牧中・応時中）

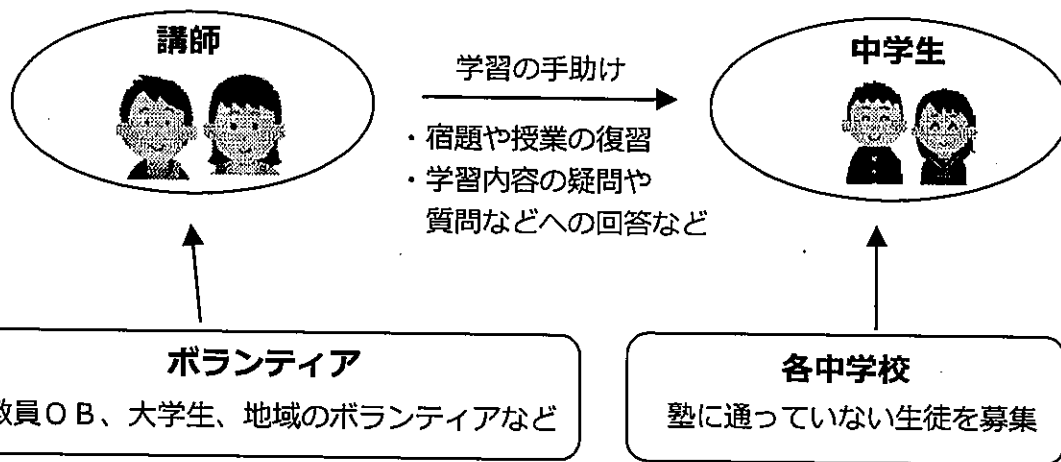
【開催日】 毎週木曜日 午後6時30分～8時

【実施場所】 東部市民センター、北里市民センター、
味岡市民センター、ふれあいセンター

【参加費】 無料

※駒来塾のイメージ

基礎学力の定着をめざして学習支援活動を実施します。



○ひとり親家庭等支援事業 12,900千円

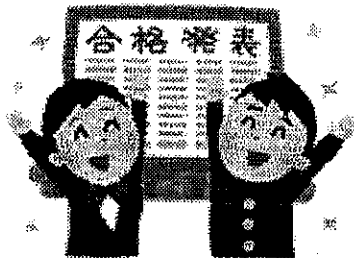
ひとり親家庭等のこどもが大学等に進学しやすい環境をつくり、また親子の学び直しを支援することで、より良い条件での就職や転職に向けた可能性を広げ、安定した雇用につなげていきます。

※ひとり親家庭等支援事業のイメージ

ひとり親家庭等支援事業

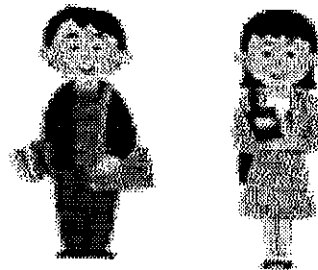
ひとり親家庭等入学支援金 給付事業

ひとり親家庭等のこどもが大学等に入学する際の準備に必要な費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ることで、進学しやすい環境をつくり、自立を支援します。



ひとり親家庭高等学校卒業 程度認定試験合格支援事業

高校を卒業していないひとり親家庭の父母や、20歳未満の児童を対象に、高等学校卒業程度認定試験の合格を目指す講座受講料の一部を助成します。



拡充

子育て世代包括支援センター運営事業

こども未来部 こども政策課

(R2.4.1～ こども未来部 子育て世代包括支援センター)

1 予算額 175,496千円

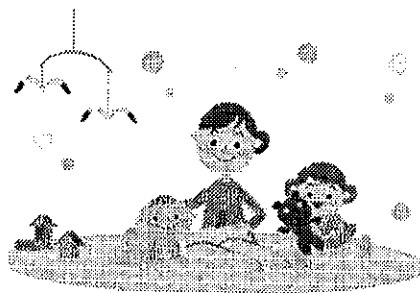
2 目的及び効果 妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない子育て支援を行う「子育て世代包括支援センター」を運営することで、一層の子育て支援を推進します。

3 事業概要 子育て世代包括支援センターでは、利用者支援事業の基本型と母子保健型を一体で実施するほか、令和2年度からひとり親相談員の増員や、新たに児童虐待対応専門員を配置し、こども家庭総合支援拠点事業を開始し、こども・子育てに関する相談(妊娠、子育て、発達、ひとり親、児童虐待など)の受付や、子育て中の保護者のリフレッシュのため、一時的に乳幼児を預かるなどして、子育て世帯を支援します。

① 妊婦・産婦・乳児個別健康診査事業 130,360千円

妊婦と胎児、産婦と乳児の健康診査及び新生児聴覚検査の費用を助成することで、疾病の早期発見・早期治療を図るとともに健康意識を高め、よりよい出産・育児のスタートにつなげます。

- ・産婦健康診査事業
- ・新生児聴覚検査事業
- ・妊婦健康診査事業
- ・妊婦個別歯科健康診査事業
- ・乳児個別健康診査事業



② 母子保健型利用者支援事業 7,743千円

1)利用者支援事業 336千円

妊娠期から子育て期にわたる様々な相談に応じ、その状況を継続的に把握し、関係機関と協力してサポートプランの作成やサービスの調整などを行います。

2)セカンドブック事業 7,407千円

子育て世代包括支援センター及び市内各児童館において、1歳の誕生日の節目にサポートプランを見直して、育児相談や必要な情報提供等の支援を行い、保護者の育児不安を取り除きます。また、絵本をプレゼントすることで、読み聞かせを通して、親と子の愛着形成を促進し、親と子の自己肯定感を育みます。

③ 妊娠・出産包括支援事業 5,925千円

産後うつ対策として、産後に心身の不調又は育児不安があり、家族から支援が得られない産婦とその児を対象に、安心して子育てができるよう、産婦人科医療機関等において、心身のケア(母乳ケア含む)や育児のサポートを行います。

④ 産前産後ヘルパー派遣事業 1,450千円

妊娠中から産後6ヶ月(多胎の場合は12ヶ月)にかけて、夫や祖父母など周りからの子育て支援が見込めない家庭にヘルパーを派遣して家事支援を行います。

利用者負担:500円/時間

市町村民税非課税世帯、多胎児育児世帯は250円/時間

生活保護世帯は免除

⑤ 一時預かり事業 23,226千円

子育て中の保護者のリフレッシュのため、生後6か月から就学前の乳幼児を子育て世代包括支援センター内で4時間を限度に預かります。

利用者負担:700円/時間

多胎児育児世帯は350円/時間

生活保護世帯、市県民税非課税世帯は免除

⑥ 新規 こども家庭総合支援拠点事業 6,792千円

児童虐待に対して迅速に対応できるよう、新たに児童虐待対応専門員を配置するほか、ひとり親相談員を増員し、体制の強化を図ります。

(仮称)こども未来館施設整備事業

こども未来部 こども政策課

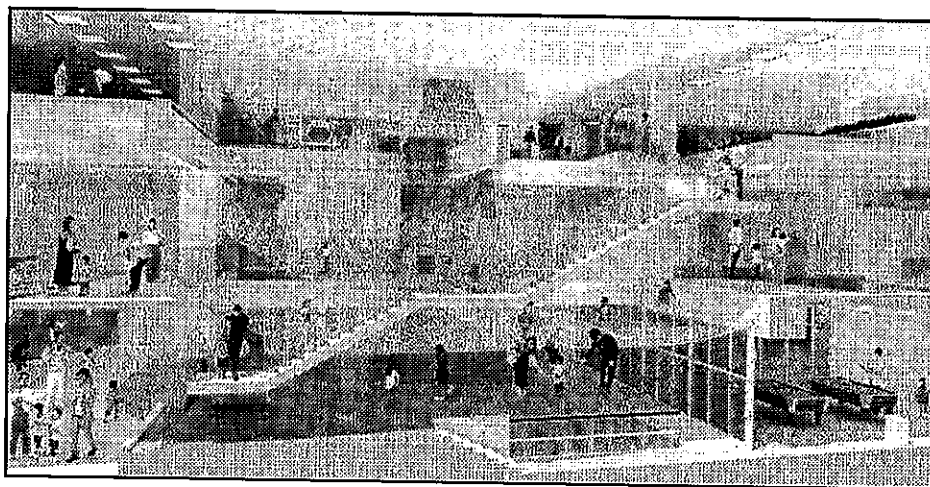
(R24.1～ こども未来部 多世代交流プラザ準備室)

- 1 事業年度 令和元年度～2年度
(継続費[令和元・2年度]1,605,912千円)
- 2 予算額 1,337,993千円
- 3 目的及び効果 ラピオビルの空床となっている部分に(仮称)こども未来館として遊びや体験をとおして、こどもが主役となって活動する拠点を整備します。

4 事業概要

(仮称)こども未来館の開設に向けて整備を進めます。(令和2年9月上旬開設予定)

- ・(仮称)こども未来館整備工事監理委託料 11,488千円
- ・(仮称)こども未来館デジタルコンテンツ作成委託料126,000千円
- ・(仮称)こども未来館整備工事費 1,112,650千円
(工期:令和元年7月5日～令和2年7月3日)
- ・(仮称)こども未来館用備品購入費 84,000千円 など



拡充

子ども医療費入院費助成事業

健康福祉部 保険年金課
(R24.1～ 福祉部 保険医療課)

1 予算額 12,000千円

2 目的及び効果 現在行っている子ども医療費助成事業を拡充することにより、医療費にかかる保護者の経済的負担を軽減します。

3 事業概要 現在、15歳の年度末までの入・通院分にかかる医療費(保険診療分)の自己負担を無料とする助成を行っていますが、入院分について対象年齢を18歳の年度末まで拡充します。なお、支給方法は償還払いとなります。

【償還払い】…医療機関の窓口でいったん医療費の自己負担を支払っていただき、後日、市へ申請すると支払い分が返還されます。

